

2023年度第1四半期 決算補足説明資料

－ 2023年8月2日 －

京王電鉄株式会社

2023年度第1四半期実績

- 運輸業、流通業およびレジャー・サービス業で対前年増収となり、営業収益は887億円
- その他業を除く各セグメントで前年と比べて改善し、営業利益は119億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は88億円
- 対当初計画では、営業収益はその他業を除く各セグメントで想定を上回り53億円の増収、営業利益はすべてのセグメントで想定を上回り51億円の増益

2023年度通期の業績予想

- 訪日外国人旅行客の増加等によるホテル業の好調に加え、鉄道旅客運賃の改定やNB建設の連結子会社化の影響などにより営業収益は3,880億円（対当初計画+200億円）を見込む
- 上記のほか、当初想定に比べて水道光熱費等の営業費用が減少したことにより営業利益は330億円（対当初計画+120億円）、親会社株主に帰属する当期純利益は252億円（対当初計画+94億円）を見込む

I . 2023年度第1四半期実績

1. 連結損益計算書
2. セグメント別の概況
3. セグメント情報（運輸業）
4. セグメント情報（流通業）
5. セグメント情報（不動産業）
6. セグメント情報（レジャー・サービス業）
7. セグメント情報（その他業）
8. 営業外・特別損益
9. 連結貸借対照表

1. 連結損益計算書

(単位：億円、%)

	2023年度第1四半期の業績				
	2022年度 第1四半期 実績	2023年度 第1四半期 実績	前年増減 (増減率)	2023年度 第1四半期 計画 <small>(2023.5.12公表ベース)</small>	計画差異 (差異率)
営業収益	797	887	90 (11.3)	833	53 (6.4)
営業利益	51	119	68 (132.9)	68	51 (74.8)
経常利益	57	121	64 (112.9)	67	53 (78.9)
親会社株主に帰属する四半期純利益	17	88	70 (410.9)	50	38 (75.6)
EBITDA	122	188	66 (54.5)	145	43 (29.5)
減価償却費	70	69	△1 (△2.3)	77	△8 (△10.5)

※EBITDAは、営業利益 + 減価償却費により算出している。

2. セグメント別の概況

- 営業収益は運輸業、流通業およびレジャー・サービス業で対前年増収
- 営業利益はその他業を除く各セグメントにおいて対前年で改善
- 対当初計画では、営業利益はすべてのセグメントで想定を上回る

(単位：億円、%)

		2023年度第1四半期の業績				
		2022年度 第1四半期 実績	2023年度 第1四半期 実績	前年増減 (増減率)	2023年度 第1四半期 計画 <small>(2023.5.12公表ベース)</small>	計画差異 (差異率)
営業 収益	運 輸 業	275	298	22 (8.3)	290	8 (2.9)
	流 通 業	239	268	28 (12.1)	259	8 (3.3)
	不 動 産 業	120	113	△ 6 (△ 5.4)	110	3 (2.9)
	レジャー・サービス業	104	159	54 (52.2)	133	26 (19.7)
	そ の 他 業	120	113	△ 6 (△ 5.3)	117	△ 3 (△ 2.9)
	連 結 修 正	△ 63	△ 66	△ 3 (—)	△ 77	10 (—)
	連 結	797	887	90 (11.3)	833	53 (6.4)
営業 利益	運 輸 業	23	46	22 (94.5)	32	13 (42.1)
	流 通 業	7	17	9 (123.9)	7	9 (124.6)
	不 動 産 業	30	31	0 (2.5)	26	4 (17.6)
	レジャー・サービス業	△ 15	20	36 (—)	△ 0	21 (—)
	そ の 他 業	4	3	△ 0 (△ 15.0)	2	1 (88.7)
	連 結 修 正	0	0	△ 0 (△ 82.2)	0	△ 0 (△ 4.8)
	連 結	51	119	68 (132.9)	68	51 (74.8)

3. セグメント情報（運輸業）

- 鉄道事業では、前年同期と比べて輸送人員の回復が進み、旅客運輸収入が増収
- バス事業においても、路線・高速などが増収

(単位：億円、%)

	2023年度第1四半期の業績		
	2022年度 第1四半期 実績	2023年度 第1四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	275	298	22 (8.3)
（鉄道事業）	177	189	12 (6.8)
（バス事業）	78	88	9 (12.7)
（タクシー業）	27	25	△2 (△7.5)
（その他）	5	5	0 (6.2)
（消去）	△13	△10	2 (—)
営業利益	23	46	22 (94.5)
（鉄道事業）	24	34	10 (43.2)
（バス事業）	△0	12	12 (—)
E B I T D A	63	85	21 (33.2)
減価償却費	40	38	△1 (△3.1)

3. セグメント情報（運輸業）

鉄道事業運輸成績

(単位：千人、百万円、%)

		2023年度第1四半期の業績		
		2022年度 第1四半期 実績	2023年度 第1四半期 実績	前年増減（増減率）
輸 送 人 員	定 期	79,919	83,308	3,389 (4.2)
	(通 勤)	57,183	59,614	2,431 (4.3)
	(通 学)	22,736	23,694	958 (4.2)
	定 期 外	60,988	65,659	4,671 (7.7)
	合計	140,907	148,967	8,060 (5.7)
旅 客 運 輸 収 入	定 期	6,694	6,975	280 (4.2)
	(通 勤)	5,845	6,096	250 (4.3)
	(通 学)	848	879	30 (3.5)
	定 期 外	10,136	10,966	829 (8.2)
	合計	16,830	17,941	1,110 (6.6)

3. セグメント情報（運輸業）

鉄道事業 輸送人員合計 対2018年度同月比の推移

(%)



2023年度 鉄道輸送人員（対2018年度比）

(単位：%)

(参考)

	4月	5月	6月	1Q累計	2022年度通期
定期計	△23.1	△19.3	△19.7	△20.7	△23.4
通勤	△23.1	△23.5	△23.4	△23.4	△26.1
通学	△22.9	△7.2	△9.2	△13.1	△14.7
定期外	△5.2	△4.5	△5.2	△4.9	△10.8
合計	△15.8	△13.4	△14.1	△14.4	△18.3

4. セグメント情報（流通業）

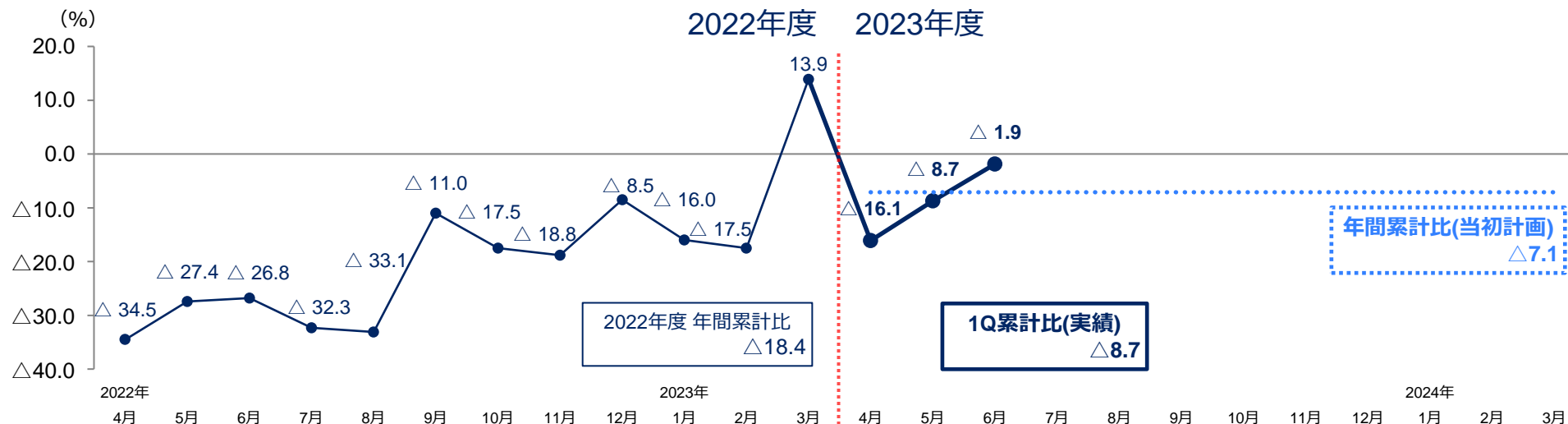
- 百貨店業では、前年同期と比べて人流の回復が進み、増収
- ストア業では、スーパーマーケット事業およびコンビニ事業が好調に推移し増収

(単位：億円、%)

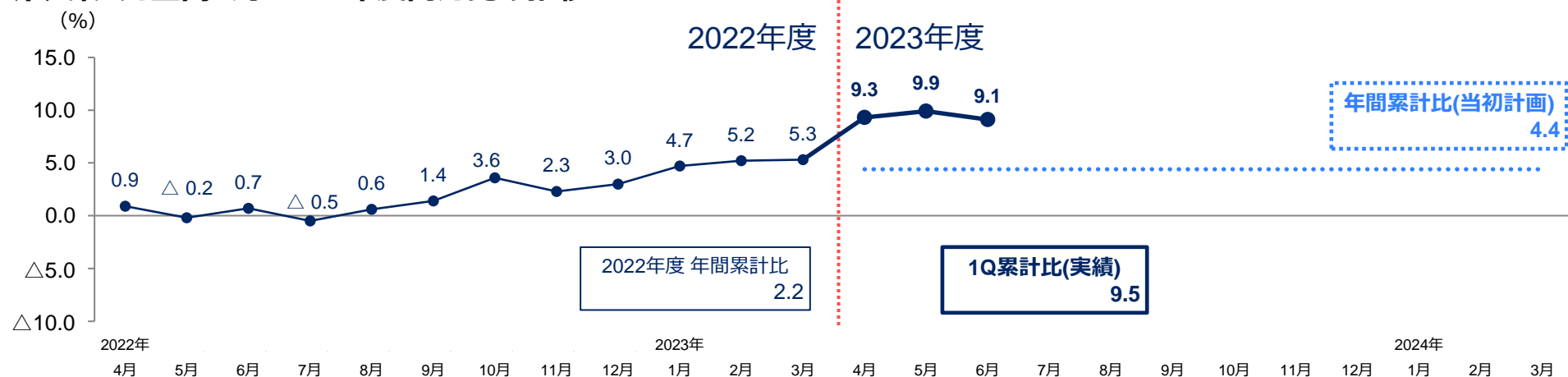
	2023年度第1四半期の業績		
	2022年度 第1四半期 実績	2023年度 第1四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	239	268	28 (12.1)
（百貨店業）	64	82	17 (27.4)
（ストア業）	116	126	10 (8.9)
（ショッピングセンター事業）	36	37	1 (3.3)
（その他）	35	35	△0 (△0.1)
（消去）	△14	△14	△0 (—)
営業利益	7	17	9 (123.9)
（百貨店業）	△4	2	6 (—)
（ストア業）	2	5	2 (89.4)
（ショッピングセンター事業）	10	10	0 (1.6)
E B I T D A	16	26	9 (60.6)
減価償却費	8	8	0 (2.3)

4. セグメント情報（流通業）

百貨店業 新宿店売上高 対2018年度同月比の推移（「収益認識に関する会計基準」等適用前に換算）



ストア業 売上高 対2018年度同月比の推移（「収益認識に関する会計基準」等適用前に換算）



5. セグメント情報（不動産業）

- 不動産賃貸業では、前年同期並みに推移
- 不動産販売業では、投資用マンションの売上減などにより減収

(単位：億円、%)

	2023年度第1四半期の業績		
	2022年度 第1四半期 実績	2023年度 第1四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	120	113	△6（△5.4）
（不動産賃貸業）	93	92	△1（△1.5）
（不動産販売業）	46	33	△12（△27.1）
（その他）	6	12	5（86.0）
（消去）	△25	△23	1（—）
営業利益	30	31	0（2.5）
（不動産賃貸業）	27	26	△1（△4.7）
（不動産販売業）	4	2	△2（△53.4）
E B I T D A	42	42	0（1.6）
減価償却費	11	11	△0（△0.8）

6. セグメント情報（レジャー・サービス業）

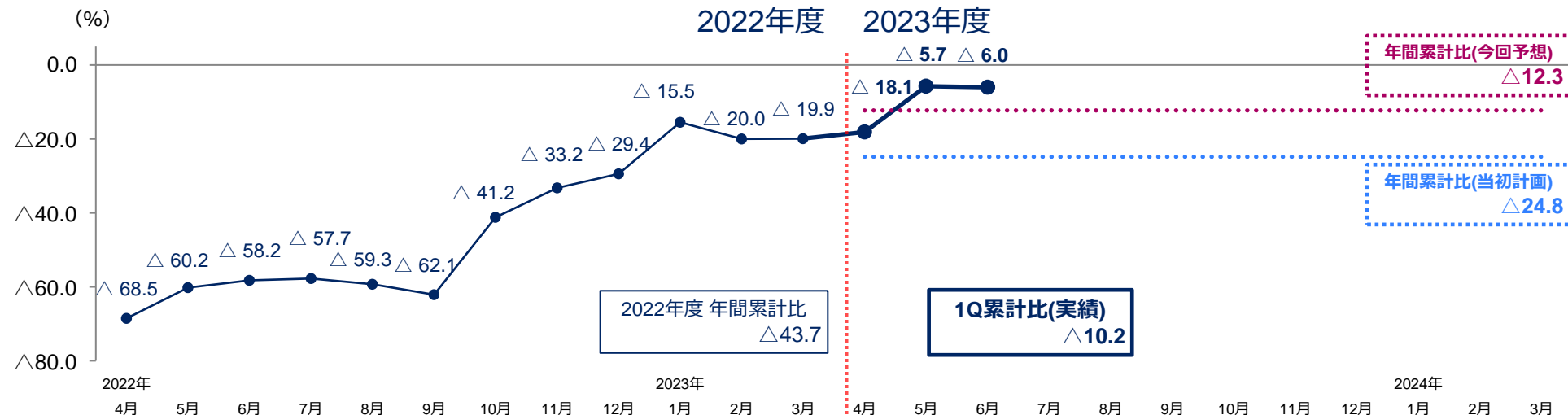
■ホテル業では、訪日外国人旅行客の増加の影響などにより、前年同期と比べて稼働率や客室単価が大きく改善し増収

（単位：億円、%）

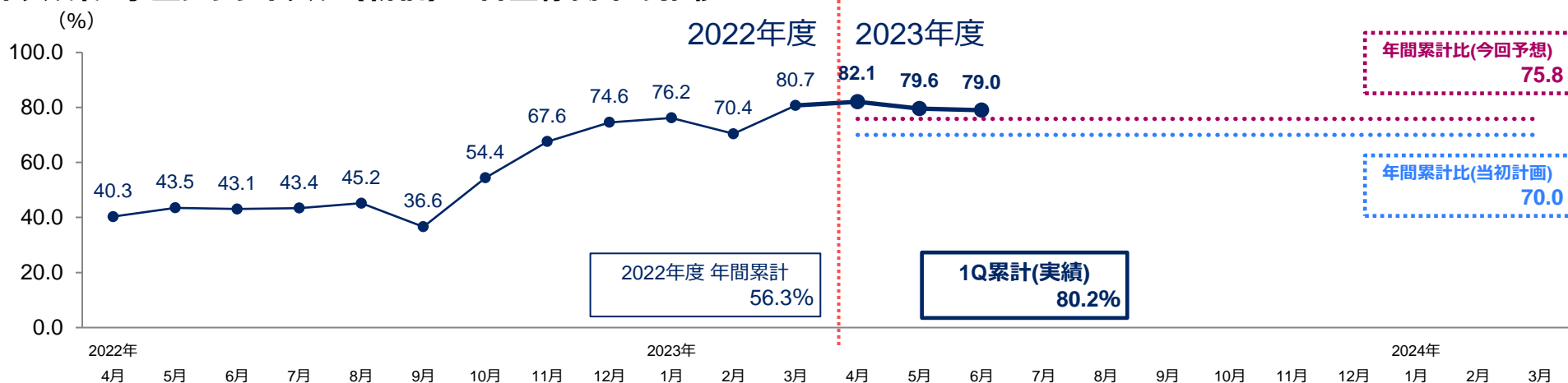
	2023年度第1四半期の業績		
	2022年度 第1四半期 実績	2023年度 第1四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	104	159	54（52.2）
（ホテル業）	80	129	49（61.2）
（旅行業）	16	18	2（14.0）
（広告代理業）	13	15	2（17.0）
（その他）	15	15	0（4.3）
（消去）	△20	△19	0（—）
営業利益	△15	20	36（—）
（ホテル業）	△12	22	34（—）
E B I T D A	△5	30	36（—）
減価償却費	10	9	△0（△4.5）

6. セグメント情報 (レジャー・サービス業)

ホテル業 京王プラザホテル (新宿) 売上高 対2018年度同月比の推移



ホテル業 京王プラザホテル (新宿) 客室稼働率の推移



7. セグメント情報（その他業）

- 建築・土木業では、完成工事高の減少などにより減収
- ビル総合管理業では、受注増などにより増収

(単位：億円、%)

	2023年度第1四半期の業績		
	2022年度 第1四半期 実績	2023年度 第1四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	120	113	△6（△5.3）
（ビル総合管理業）	50	54	3（7.2）
（車両整備業）	14	15	1（8.4）
（建築・土木業）	36	23	△12（△34.5）
（その他）	22	23	0（0.9）
（消去）	△4	△3	1（—）
営業利益	4	3	△0（△15.0）
（ビル総合管理業）	3	3	△0（△1.6）
（車両整備業）	0	0	0（27.9）
（建築・土木業）	0	△0	△0（—）
E B I T D A	5	5	△0（△12.3）
減価償却費	1	1	△0（△1.3）

8. 営業外・特別損益

(単位：億円)

	2022年度 第1四半期 実績	2023年度 第1四半期 実績	増減	増減要因
営業収益	797	887	90	
営業利益	51	119	68	
営業外収益	12	9	△2	
営業外費用	7	8	1	
経常利益	57	121	64	
特別利益	1	1	△0	
特別損失	3	1	△1	
法人税等	38	33	△5	2022年度にグループ通算制度導入による繰延税金資産の取崩し等
親会社株主に帰属する 四半期純利益	17	88	70	

9. 連結貸借対照表

- 総資産は、現金及び預金の減少などにより減少
- 負債は、工事代金の支払いなどにより減少
- 純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより増加

(単位：億円)

	2022年度 実績	2023年度 第1四半期 実績	増 減	増減要因
流 動 資 産	1,828	1,703	△125	現金及び預金△124億円
固 定 資 産	7,723	7,775	52	投資有価証券+77億円
総 資 産	9,552	9,478	△73	
流 動 負 債	2,194	2,039	△154	未払金の減など
固 定 負 債	3,842	3,781	△61	
負 債	6,036	5,820	△216	
純 資 産	3,515	3,658	142	利益剰余金+63億円、その他有価証券評価差額金+51億円
負債及び純資産	9,552	9,478	△73	

有 利 子 負 債	4,026	4,015	△11
自 己 資 本 比 率	36.8%	38.6%	1.8P

(注) 有利子負債は、借入金+社債により算出している。

Ⅱ. 2023年度通期の業績予想

1. 連結損益計算書
2. セグメント別の概況
3. セグメント情報（運輸業）
4. セグメント情報（流通業）
5. セグメント情報（不動産業）
6. セグメント情報（レジャー・サービス業）
7. セグメント情報（その他業）

II. 2023年度通期の業績予想

1. 連結損益計算書

- 訪日外国人旅行客の増加等によるホテル業の好調に加え、2023年10月1日より実施予定の鉄道旅客運賃の改定や2023年5月31日付でNB建設を連結子会社化した影響などにより対当初計画で増収を見込む
- 上記の影響に加え、水道光熱費等の営業費用の減少により、対当初計画で増益を見込む

(単位：億円、%)

	2023年度通期の業績予想				
	2022年度実績	2023年度予想	前年増減 (増減率)	2023年度当初計画 <small>(2023.5.12公表ベース)</small>	計画差異 (差異率)
営業収益	3,471	3,880	408 (11.8)	3,680	200 (5.4)
営業利益	214	330	115 (53.6)	210	120 (57.1)
経常利益	217	317	99 (45.6)	197	120 (60.9)
親会社株主に帰属する当期純利益	131	252	120 (92.2)	158	94 (59.5)
E B I T D A	506	644	138 (27.4)	531	112 (21.2)
減価償却費	291	313	21 (7.5)	321	△ 8 (△ 2.6)
資本的支出	528	675	147 (27.8)	675	— (—)

2. セグメント別の概況

(単位：億円、%)

		2023年度通期の業績予想				
		2022年度 実績	2023年度 予想	前年増減 (増減率)	2023年度 当初計画 <small>(2023.5.12公表ベース)</small>	計画差異 (差異率)
営業 収益	運 輸 業	1,111	1,209	97 (8.8)	1,164	44 (3.8)
	流 通 業	1,028	1,075	47 (4.6)	1,077	△ 1 (△ 0.1)
	不 動 産 業	528	527	△ 1 (△ 0.3)	527	— (—)
	レジャー・サービス業	527	687	160 (30.4)	634	53 (8.4)
	そ の 他 業	647	785	138 (21.4)	677	107 (15.9)
	連 結 修 正	△ 371	△ 405	△ 33 (—)	△ 400	△ 4 (—)
	連 結	3,471	3,880	408 (11.8)	3,680	200 (5.4)
営業 利益	運 輸 業	39	109	70 (178.4)	37	72 (194.7)
	流 通 業	39	35	△ 3 (△ 9.9)	27	8 (29.3)
	不 動 産 業	120	104	△ 16 (△ 14.0)	99	4 (4.9)
	レジャー・サービス業	△ 21	50	72 (—)	16	33 (204.5)
	そ の 他 業	44	44	△ 0 (△ 0.2)	44	0 (1.4)
	連 結 修 正	△ 7	△ 13	△ 6 (—)	△ 14	0 (—)
	連 結	214	330	115 (53.6)	210	120 (57.1)

2. セグメント別の概況

	営業収益			営業利益		
	2023年度 第1四半期実績 (4~6月)	2023年度 通期予想-1Q実績 (7~3月)	2023年度 通期予想 (4~3月)	2023年度 第1四半期実績 (4~6月)	2023年度 通期予想-1Q実績 (7~3月)	2023年度 通期予想 (4~3月)
運 輸 業	298	910	1,209	46	63	109
流 通 業	268	807	1,075	17	17	35
不 動 産 業	113	413	527	31	72	104
レジャー・サービス業	159	527	687	20	29	50
そ の 他 業	113	671	785	3	40	44
連 結 修 正	△66	△338	△405	0	△13	△13
連 結	887	2,992	3,880	119	210	330

3. セグメント情報（運輸業）

(単位：億円、%)

	2023年度通期の業績予想		
	2022年度 実績	2023年度 予想	前年増減（増減率）
営業収益	1,111	1,209	97（8.8）
（鉄道事業）	710	788	77（10.9）
（バス事業）	317	337	19（6.1）
（タクシー業）	106	103	△2（△2.3）
（その他）	24	24	0（3.1）
（消去）	△47	△45	2（—）
営業利益	39	109	70（178.4）
（鉄道事業）	29	85	56（195.4）
（バス事業）	6	15	8（139.7）
E B I T D A	203	281	77（38.2）
減価償却費	164	172	7（4.7）
資本的支出	246	412	166（67.3）

3. セグメント情報（運輸業）

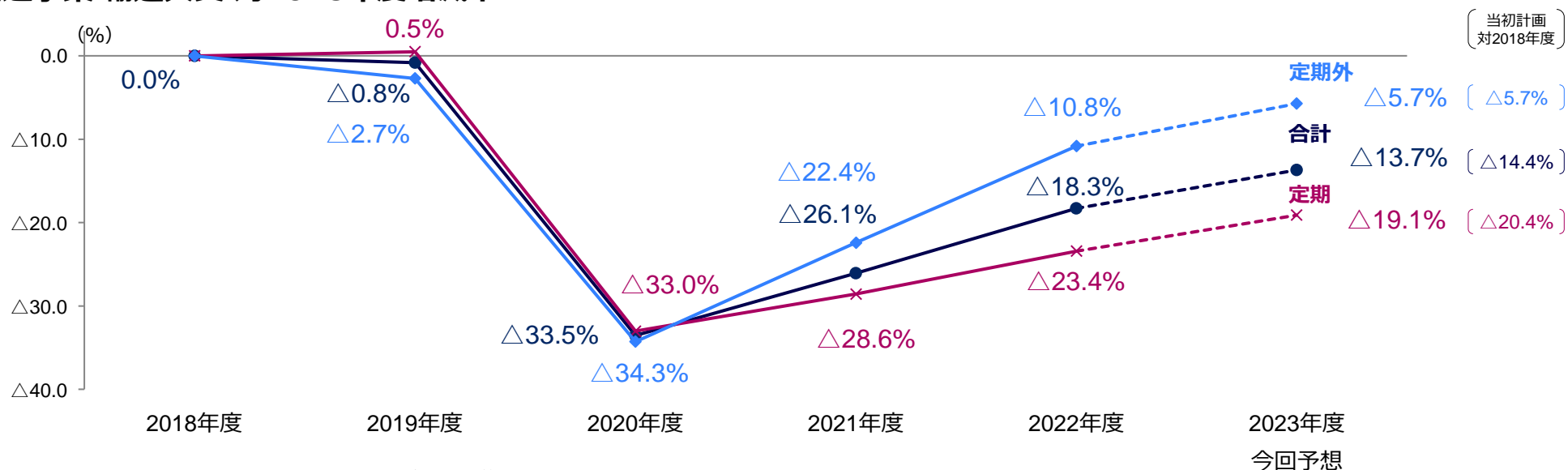
鉄道事業運輸成績

(単位：千人、百万円、%)

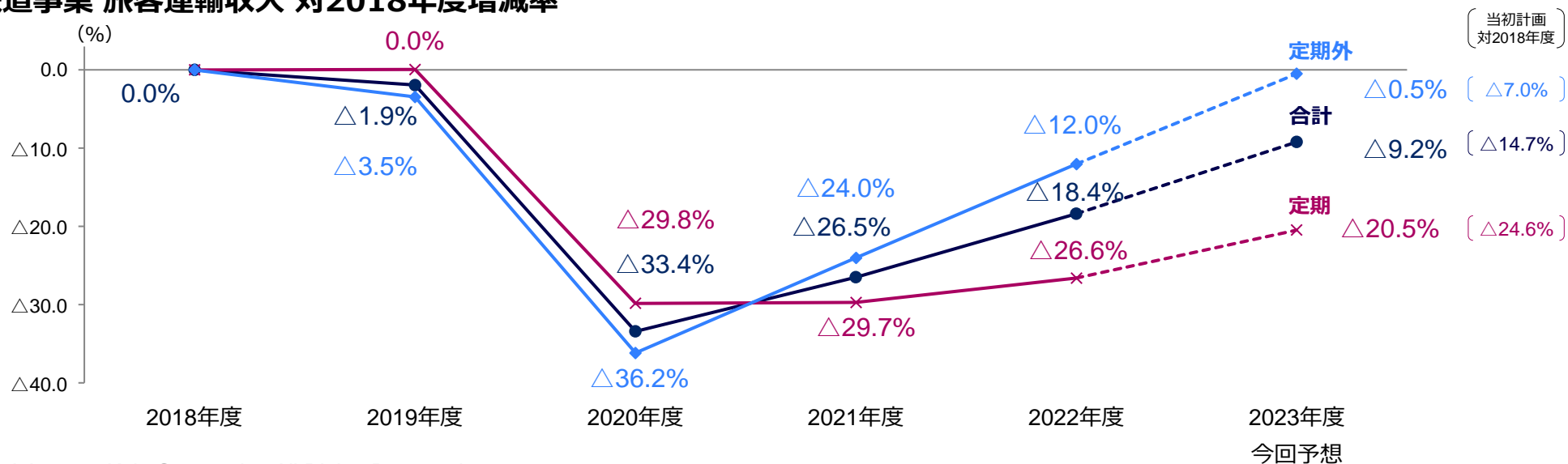
		2023年度通期の業績予想		
		2022年度実績	2023年度予想	前年増減（増減率）
輸 送 人 員	定 期	308,409	325,709	17,300 (5.6)
	(通 勤)	228,617	237,128	8,511 (3.7)
	(通 学)	79,792	88,581	8,789 (11.0)
	定 期 外	245,480	259,508	14,028 (5.7)
	合計	553,889	585,217	31,328 (5.7)
旅 客 運 輸 収 入	定 期	26,311	28,505	2,194 (8.3)
	(通 勤)	23,352	25,221	1,868 (8.0)
	(通 学)	2,958	3,284	326 (11.0)
	定 期 外	40,819	46,167	5,348 (13.1)
	合計	67,130	74,673	7,542 (11.2)

3. セグメント情報（運輸業）

鉄道事業 輸送人員 対2018年度増減率



鉄道事業 旅客運輸収入 対2018年度増減率



4. セグメント情報（流通業）

（単位：億円、％）

	2023年度通期の業績予想		
	2022年度 実績	2023年度 予想	前年増減（増減率）
営 業 収 益	1,028	1,075	47 (4.6)
（百貨店業）	310	346	35 (11.3)
（ストア業）	483	494	10 (2.2)
（ショッピングセンター事業）	148	146	△ 1 (△ 1.3)
（その他）	143	147	4 (2.9)
（消去）	△ 58	△ 58	△ 0 (—)
営 業 利 益	39	35	△ 3 (△ 9.9)
（百貨店業）	△ 5	3	8 (—)
（ストア業）	10	8	△ 2 (△ 21.7)
（ショッピングセンター事業）	38	25	△ 12 (△ 33.2)
E B I T D A	75	84	9 (13.0)
減 価 償 却 費	35	49	13 (38.1)
資 本 的 支 出	57	44	△ 13 (△ 22.8)

5. セグメント情報（不動産業）

(単位：億円、%)

	2023年度通期の業績予想		
	2022年度 実績	2023年度 予想	前年増減（増減率）
営業収益	528	527	△1（△0.3）
（不動産賃貸業）	375	384	9（2.5）
（不動産販売業）	219	244	25（11.5）
（その他）	35	37	1（4.7）
（消去）	△101	△138	△37（—）
営業利益	120	104	△16（△14.0）
（不動産賃貸業）	97	88	△9（△9.8）
（不動産販売業）	25	10	△15（△59.5）
E B I T D A	168	153	△14（△8.6）
減価償却費	47	49	2（5.0）
資本的支出	197	130	△66（△33.7）

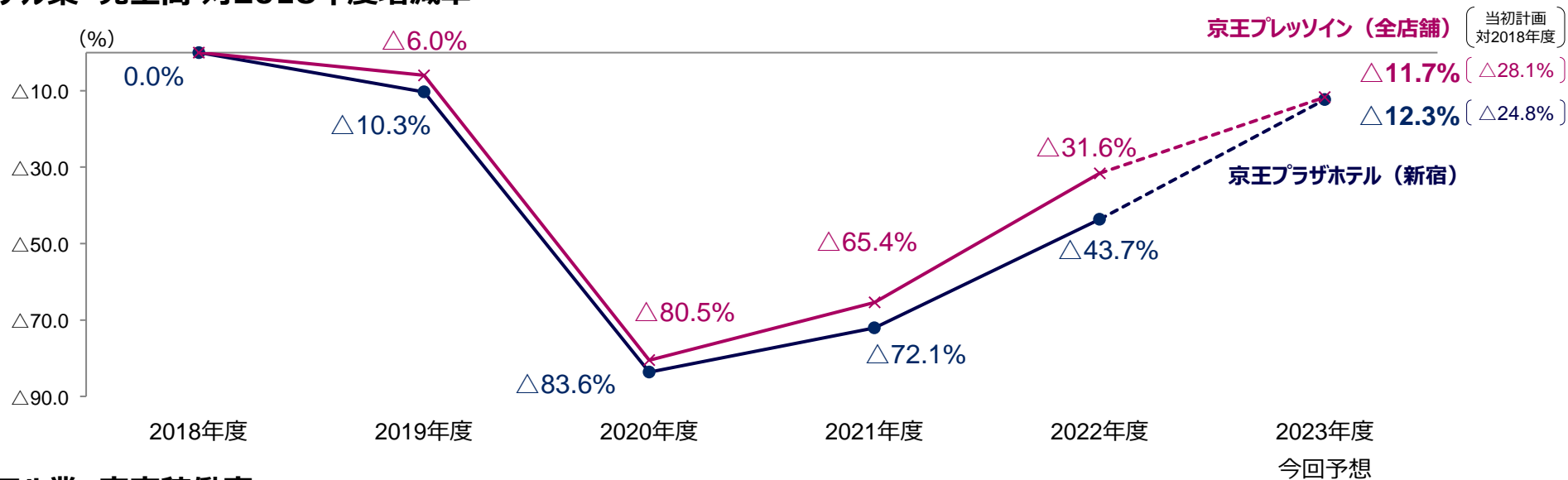
6. セグメント情報（レジャー・サービス業）

（単位：億円、％）

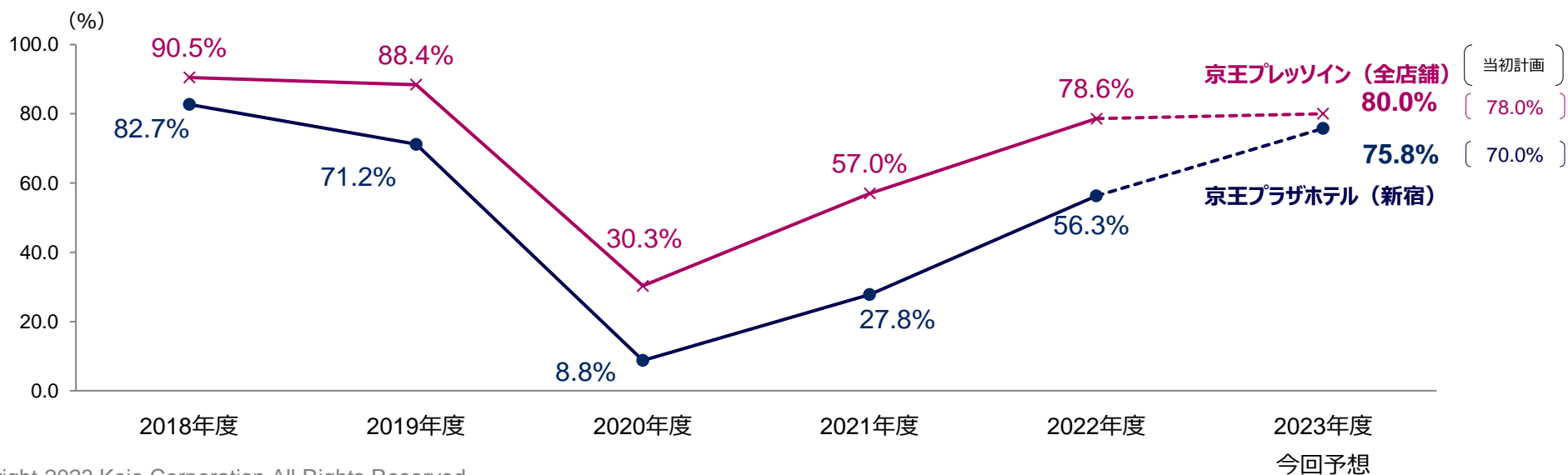
	2023年度通期の業績予想		
	2022年度 実績	2023年度 予想	前年増減（増減率）
営業収益	527	687	160（30.4）
（ホテル業）	394	503	109（27.8）
（旅行業）	78	112	34（43.7）
（広告代理業）	80	99	18（23.4）
（その他）	58	60	2（3.7）
（消去）	△83	△88	△4（—）
営業利益	△21	50	72（—）
（ホテル業）	△15	38	53（—）
E B I T D A	20	90	70（344.7）
減価償却費	42	40	△1（△4.7）
資本的支出	26	70	43（163.9）

6. セグメント情報 (レジャー・サービス業)

ホテル業 売上高 対2018年度増減率



ホテル業 客室稼働率



7. セグメント情報（その他業）

(単位：億円、%)

	2023年度通期の業績予想		
	2022年度 実績	2023年度 予想	前年増減 (増減率)
営業収益	647	785	138 (21.4)
（ビル総合管理業）	263	260	△3 (△1.3)
（車両整備業）	76	93	16 (21.9)
（建築・土木業）	235	364	128 (54.6)
（その他）	94	98	4 (4.3)
（消去）	△23	△30	△7 (—)
営業利益	44	44	△0 (△0.2)
（ビル総合管理業）	22	18	△3 (△16.4)
（車両整備業）	7	8	1 (23.5)
（建築・土木業）	15	16	1 (7.6)
E B I T D A	49	50	1 (2.7)
減価償却費	4	4	0 (4.2)
資本的支出	3	25	21 (616.9)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。